

新たにスタートする第6期雄武町総 合計画後期基本計画に基づきまちづ くりを進めます

雄武町長 石井 友藏

新年

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から町政に対しご理解と協力を賜り、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生から、3年余りが経過しました。この間、医療、保健、介護などの現場を支えていただいている多くの皆さま、感染対策に協力していただいている事業者の皆さま、そして町民の皆さまに對しまして、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきまして、未だその脅威はさつておらず、終息のめどは立っておりませんが、国は感染症対策と社会経済活動の両立を目指し、基本的に行動制限は課さないという方針に切り替わったところがあります。ただし、感染拡大防止のための「マスクの着用」、「手洗いの励行」、「三密の回避」といった基本的な感染症対策は必要でありますので、「感染しない」「感染させない」ための強い意識と行動の徹底について、皆さまのご協力を願ひ申し上げます。

さて、世界に目を向けますと、昨年は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻という、衝撃的な事件が起こりました。この暴挙により、子どもたちをはじめ、罪のない多くのかけがえない命が失われています。犠牲となられたすべての皆さまに深い哀悼の意を表すとともに、その惨状に胸が締め付けられる思いであり、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さを痛感しております。この「戦争」が一日でも早く終息する

ことを願ってやみません。

国内では参議院議員通常選挙を経て、第2次岸田内閣が開始いたしました。ウイズコロナ、アフターコロナに加え、原油価格・物価高騰など、国民生活に直結する課題解決に向け、国も各種施策の実施を予定しておりますのでその動向を注視し、引き続き、感染拡大防止、町民生活および町内経済支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

昨年1年間もコロナ禍ではありましたが、嬉しいニュースもたくさんありました。中国の北京市で開催されました冬季オリンピックにおいて、日本選手団は冬のオリンピックで過去最多となる18個のメダルを獲得し、多くの皆さまに勇氣と元氣を与えてくれました。また、カタールで開催されましたサッカーのワールドカップでは、日本チームが格上のドイツやスペインに勝利をするなど、日本中が大いに沸き、その勝敗に一喜一憂した人も多かったのではないのでしょうか。雄武町においても、関係者の努力により感染対策を徹底したうえで、3年ぶりに「雄武の宝うつまいもんまつり」が開催され、多くの来場者のもと、久しぶりのまつりに笑顔の絶えない一日となりました。ウイズコロナの考えのもと、今年は多くのイベントが開催されますことを願っております。

さて、昨年の町内の産業の状況ですが、原油価格・物価高騰はどの産業にも大きな影響をもたらしましたが、とりわけ酪農・畜産業については、生乳の生産抑制に加えて牛の販売価格の暴落などによる収益の減少もあり、悪条件が幾重となる極めて厳しい情勢となる稀有な年となりました。

令和

5年の新しい年が明けました。町民の皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は町議会に対して深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、2月24日にロシアがウクライナに軍事侵攻を開始して、民間人に死傷者を出す攻撃を行い、病院、学校、住宅などの市民の建物に被害を与えました。戦時国際法に違反する無差別攻撃が行われ、その一部は戦争犯罪に当たる可能性があると考えています。21世紀の現在、核兵器を所有する国が他国に軍事侵略した現実、世界中に驚きが走りました。

日本を始め世界の国々はロシアへの経済制裁としてロシア産の天然ガスや石油、石炭等の輸入制限を実施し、これらの価格が急騰致しました。戦闘は続き、開始以来10か月を超えました。アメリカやイギリス、EU諸国、日本、カナダ、オーストラリアなどがウクライナのために武器や弾薬などの支援を続け、その成果が現在のウクライナの戦闘維持に現れています。一方で、ロシア、中国、北朝鮮に囲まれている我が国は、ウクライナのように軍事侵略を受けるリスクが近くにあることに気が付きます。

令和元年12月に、中国の武漢市で初めて確認された、新型コロナウイルス感染症は世界中で広がり、3年が過ぎた現在も収束していません。昨年も国からの予算を活用して町内の経済対策の決定に際しては、コロナウイルスが存在する環境で、町民の皆さまの安心と経済の安定、活性化を図るた

美しく豊かな自然と

美味の雄武町

雄武町議会議長 橋詰 啓史

搾乳農家は、44戸と大きな減少がなく、今後も同水準の維持が望まれ、新規就農を含めた担い手対策には、今後、さらに力を入れていく必要があります。

漁業は、主要魚種の一つでありますホタテ貝が、史上最高の水揚げ量を記録した一昨年をさらに上回り、量・価格ともに好調のまま切り上げを迎えました。毛ガニは、計画量の68トンを超調に水揚げしたものの、不安視される資源量の回復を目指し、オホーツク管内栽培漁業推進協議会毛ガニ部会による種苗生産の研究がスタートしたことから、将来に向け研究成果が実を結ぶことに期待を寄せるところであります。また、サケは近年、水揚げ量の減少が危惧されてきましたが、一昨年から好漁が続ぎ、昨年は、計画量を大きく上回る大漁に恵まれ、漁獲金額も過去最高を更新したところであります。

水産加工業では、国内外の需給バランスが回復を見ていることから、今後も前浜における安定した水揚げが維持されるよう、そして、雄武産ブランドが守られることを願うところであります。また、経営面においては、田安やウクライナ情勢の影響下に伴い、外国人材確保の困難さや、加工コストの高騰などが引き起こされていることから、平穏な世界情勢となることを心から願うばかりであります。

私が町長に就任してから、早いもので3年が経過しました。この3年間は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題として、全庁を挙げて取り組んできたところでありますが、本年につきましても引き続き、町民の生命と暮らしを守るという町長に課

めその都度議会で活発な議論を重ねてまいりました。

参議院議員選挙が6月22日に告示され、選挙戦が開始された中、7月8日に奈良市内で応援演説をしていた安倍晋三元総理大臣が銃撃によって暗殺されるという事件が発生しました。この突然の凶行には国内にも世界にも大変大きな衝撃で、その後、9月27日に日本武道館で執り行われた国葬儀には賛否両方の世論がありました。海外から210を超える国・地域・機関から約7000人、国内からの弔問者を合わせると約42000人の参列者を迎えました。また、4時間を超える行列を歩き、一般献花台に花を手向けた人数は2万5千人を超え、さらにデジタル献花には52万人が弔意を示しました。

昨年の町内の産業を振り返ると、漁業は水揚げ高が前年よりも25億円増え、過去最高の95億円を上回る金額を達成しました。これは特にホタテが歴代最高の2万2千トン以上、サケの豊漁と毛ガニの順調な漁と共に価格も高値で推移したことによりです。

これはオホーツク海の豊かなさが前提ですが、先人の永年の苦勞と関係者の努力の賜物であり、誠に喜ばしいことでした。農業は、コロナ禍の影響により牛乳消費が減少したこと、出産した子牛の価格が過去に例がない程の低価格による収入の減少、さらに大幅な田安による配合飼料と輸入牧草の価格高騰と品不足により、組合員の方々の経営は大変厳しい状況にあります。が、国や道の支援と共に議会としてもできる限りのご協力をしてまいります。

「国営緊急農地再編事業雄武丘陵地区」農

地整備事業は今年で6年目です。工事が終了した広大な草地を眺めると、雄武町の未来の農業が大きく発展する期待が湧いてまいります。また安全操業の根幹である漁港の整備も、元稲府・雄武・幌内・沢木各漁港がそれぞれ予算化されています。将来の雄武町を支える次世代のため、優れた漁港や大規模で状態の良い農地を残すことが、今を生きている私たちの大きな責務だと考えています。予算要望の機会に時折先人の足跡を感じるときがあり、私はその時、感謝と共に身が引き締まる思いになります。

私は雄武町の毛ガニを筆頭にウニ、タコ、ホタテは日本一おいしいと思っており、どこへ行っても自慢しています。春になったら日本全国から日本一おいしい毛ガニやウニを食べに行きたい町だと思っしてほしいと心から願っています。私たちの雄武町は美しく豊かな自然に恵まれ、まだまだ大いなる可能性を秘めています。

私共議員の務めは、町民の皆さまが町を誇りに思い、安心して暮らせる町を築くため、自らの責任を強く自覚し活動することです。本年は、4年に一度の統一地方選挙の年を迎えました。選挙を通して、現職・新人共に町の未来への想いを皆さまに伝えられますよう願っています。

本年も、議会に対し、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、町民の皆さまにとって、より良い一年になりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

雄武町長と雄武町議会 議長が語る

卯年の誓い

せられた使命を果たしていくとともに、町民各界各層からなる総合計画策定審議会での精力的な議論を経るなどして、現在、議会で審議中であります「第6期雄武町総合計画後期基本計画」が、本年4月にスタートしますので、本計画に沿って、町長就任にあたり掲げました「郷土愛を育み未来に夢と希望の持てるまちづくり」という大きな目標の実現に向けて、各種施策に全力で取り組んでまいります。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

